

しかはま自然観察会  『人も 自然も みんなともだち !』No.17	代表責任者 古高 利男 ☎270-1132 我孫子市湖北台2-14-7 ☎090-7275-9890 2019, 3, 2
---	--

第17回活動 「 サケの放流と梅見物、早春の生き物観察 」

サケは、無事育ったのでしょうか。
 放流したときの様子は、どうでしたか。
 ことしの梅は、たくさんさいていたのでしょうか。

1, 日 時： 2019年3月2 (土) 午後2時～4時

2, 天 気： 晴れ・・・風は止み、暖かい日でした。

気温・・・計るのを忘れました。

3, 交 通：○現地集合

4, 場 所：○都市農業公園 藤棚下

5, 参加者：総数 24人

内訳	6家族	大人	10
		中学生	1
		小学生	8
		幼児	1
		スタッフ	4

6, 活動の様子

放流数は、約200匹でした。配布数は4000個でしたが・・・。

10cmぐらいに育ったサケもいました。エサを、朝・昼・夕とあげたそうです。このぐらいの大きさになると、迫力がありません。

今年は、死亡の報告が多かったです。孵化したものの、赤いお腹をつけたまま、底の方で死んでしまいました。水の循環が悪かったからなのでしょう。

○放流

新芝川で、放流しました。

満潮で、2段目の所まで水がきていました。コップに1匹入れて、静かに水面に傾けました。ゆっくり出たサケは、近くの水面を泳いでいました。その姿を見ていると、「元気で、海にいつてね。また、戻ってきてね。」と、心の中でつぶやいてしまいました。

この荒川にサケが戻ってきた事例はないようです。

東京湾があり、このような地形の所には、サケは遡上しないようです。

太平洋側では、千葉県一宮川が最南端で、遡上も確認されています。

2月18日に、約6000匹を、児童生徒ら300人で5cmの稚魚を放流したそうです。

7, 親と子の、いきいき感想

- サケを125匹もらっていたのに、最終的に3匹になったのがふしぎでした。

栗原北小4年

* 今年は途中で死んでしまうことが多く、育った稚魚は3匹でした。今日、温度を低くするためにペットボトルを凍らせたものを入れているという話を聞きました。今度、やってみようと思います。

まってるよ もどっておいで 荒川に 母

- さびしいね さけほうりゅう ありがとう

鹿浜第一小1年

- さけは、みんな小さくてたくさんいるのと、大きくて少ししかいないのがいました。

笛を作ってふいてみたら、へんな音がでました。

魚たち 元気で海へ 食べられず

鹿浜第一小3年

- さけ かえってきて ほしいな。

西新井幼稚園年長

* 「卒園まで、育てたいな」と、最後はお別れがさみしそうでした。

まだ、さほど飼育には参加できませんでしたが、それなりに想いをもてたようです。 母

- きょう サケのほうりゅうで (自分が飼っていた) さけはぜつめつしたけど ほかの人の (さけをもらい) をほうりゅうできて よかったし いろんなのがみれてよかったです。

王子小1年

- サケを放流して、よかったです。

さけ流し 四年後には かえってこい

滝野川第三小4年

- さけが、すぐ、海にいくと思ったけど、(水に) なれてからいくんだなと思いました。

ぶじねさけ ほうりゅうできて うれしいな

滝野川第三小2年

- さけの おせわができて うれしかったです。

みんなで ちからをあわせて てつだいました。

- 自分が一生懸命育てたサケが、川で元気よく泳いで、良かったです。

大きくなって、元気に帰ってきてくれたら、嬉しいです!

頑張って 育てたサケちゃん 元気でね

鹿浜菜の花中2年

* 3ヶ月とはいえども、我が家で育てたサケ。

1匹でも、生きて戻ってきてほしい~です。

母